

京都大学経済学部同窓会



NO. 24

Kyoto University
Faculty of Economics Alumni Association
2021



総会・臨時総会開催のご案内



※写真はイメージです

臨時総会参加方法について

10月9日の臨時総会は左記のとおり
オンラインで開催します。



- 1** オンライン講演会・臨時総会に参加ご希望の方は
同窓会ホームページの「講演会・臨時総会用バナー」(10月4日ごろ設置予定)を
クリックしていただき、下に記載のパスワードを入力してください。

【パスワード XXXXXXXXXX】

セキュリティ上、このパスワードはご本人様限りでお願いします。

- 2** 参加用ZoomのURLが表示されますのでクリックしてください。

Zoom のご使用マニュアル (同窓会ホームページにも掲載中)

「京都大学経済学部同窓会」で検索→トップページ→
イベント案内→オンライン開催の臨時イベントについて

マニュアル





令和3年度

京都大学経済学部同窓会

今年度の同窓会総会は2回にわけて開催いたします

詳細は次ページをご覧ください

1回目

総会(書面)

本会報の54ページ～58ページに掲載の議案に対する承認／不承認につき、
同封の≪ 議決権行使書 ≫に○を付けていただき、

9月24日(金)までにご郵送ください。

2回目

臨時総会・講演会(オンライン) ※参加方法は右ページを参照

日時

令和3年 10月9日(土)

内容

講演会 14:00～15:00 (13:30より入室可能)
総会 15:10～15:40

講演



「国内外の京大同窓会に参加して」

2015年に京都大学同窓会の代表幹事を引き継いで以降5年半の間、世界・日本各地で京大同窓生が集まって交流ができるように、同窓会の空白地域をなくすことを目標として、ネットワークづくりに取り組みました。
その活動の報告をさせていただきます。

講師

京都大学名誉教授

徳賀 芳弘 氏

京都大学経済学部同窓会
会長 相京 重信

京都大学経済学部同窓会 令和3年度 総会・臨時総会

謹啓

京都大学経済学部同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会活動にご理解とご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大が依然として収束しないことから、今年度は、昨年度に引き続き書面にて京都大学経済学部同窓会総会を開催することにいたしました。つきましては、会報の54～58ページの総会資料をお読みの上、9月24日までに同封の議決権行使書で議案に承認、不承認につきご連絡ください。期日までにお返事のない方は、全議案に承認されたものとさせていただきます。皆様にご承認賜りました場合は、9月24日を持って承認いただいたものといたします。

ただし、今年度は、新役員の追加選出があると見込まれるため、10月9日（土）にオンラインにて京都大学経済学部同窓会臨時総会を開催することにいたしました。つきましては、9月24日までに同封の講演会・臨時総会出欠票にてご連絡の上、ご出席くださいますようお願いいたします。

末筆になりましたが、時節柄くれぐれもご自愛のほど衷心よりお祈り申し上げます。

謹白

記

【総会の議案】

- 議案1 令和2年度 収支決算書
- 議案2 令和3年度 新役員の選出
- 議案3 令和3年度 収支予算書（案）

【臨時総会の議案】

- 議案1 令和3年度 新役員の追加選出

以上

会長就任にあたりまして



元 S M B C 日興証券会長

相京 重信

令和2年10月の同窓会総会において、小塚前会長の後任として会長に選任されました相京重信でございます。就任にあたりまして一言ご挨拶させていただきます。

初めてお会いする方の9割以上の方から、「珍しいお名前ですね。どちらのご出身ですか?」と聞かれます。私自身は東京生まれの関西育ちですが、墓は愛知県江南市の片田舎に有り、菩提寺のご住職の話によると、「ご先祖は京都で治水工事に携わっていました。木曾川の治水工事をする為にこの地に移り住むようになりました。そして名字を付けるにあたり、再び京都で会おう、と願いを込め、相京という名字を付けたようです」ということです。絶世の美女に再び会おうとしたのか、離れた一族に会おうとしたのか定かではありませんが、ロマンチックな感じがします。出身地の次には「こんな京の字があるのですか、印刷ミスでは?」と聞かれます。実はこの「京」という字は結構色々なところに使われています。戦前の朝日新聞の東京版は「東京朝日新聞」、昔の双六の上りは「京」という

字で書かれていました。京都大学も10年程前まで一部この字を使っており、今でも有ると思いますが、理学部の校舎に掲げられている看板には「京都帝国大学」とありますし、私の時代の卒業証書にはこの「京」の字が使われておりました。この話をしますと口の悪い友人から「君の卒業証書だけじゃないのか。君は成績が悪かったから二本多く入れられたのだろう」ととんでもないことを言われたこともあります。然し、ちよつと待つてくれ。確かに成績は良くなかったが、学校そのものがフローズしていたではないか。昭和43年に入学したものの、学生運動が激しく、入学早々、学内は机、椅子のバリケードの山、ロックダウンならぬロックアウトで授業も出来ない状態が長く続きまし。今と違いWEBなど有りません。やむを得ず、万歳と叫びながらクラブ活動に、麻雀に専念し、日中は農学部グラウンド、夜は雀荘という生活でありました。ゼミは故大橋先生の統計学でした。先生には僅かな出席回数にも拘らず、「就職が決まったのならゼミを落とす訳にはいかないだろう」と単位

を与えて頂き、未だに感謝しております。まさしく劣等生そのものでしたが、中、高、大とサッカー部に所属し高校時代は全国四位までなり、大学時代も関西一部リーグでプレー出来たことは数少ない私の自慢し得ることです。

こんな勉強とは縁のない生活を過ごしてまいりましたが、無事四年で大学を卒業し住友銀行に入行しました。当時、都銀は13行有りましたが、金融再編の嵐に巻き込まれ、あつという間に3メガバンクに集約されてしまうという波乱万丈の時代でありました。銀行では人事部が長かったのですが、広報部長、人事部長、法人統括部長、東京営業本部長等を経て最後は副頭取で法人部門のヘッドを務め、日本を代表する企業の経営者の方々とお会いすることが出来、これが私の大きな財産となっております。その後日興証券がSMBCの傘下に入り、私は同社の会長となり、約5年間務めた後同社を退任し、現在数社の社外役員をしております。

同窓会活動は「京大生は群れず」を良いことに、2年前まで全くしたことがありませんでしたが、前東京支部長の宇野さんに勧誘され今日に至っている訳です。従って同窓会の組織も活動も詳しくありません。また縷々申し上げたように、可成りいい加減な大学生活しかしてこなかった私にこの伝統ある経済学部同窓会長が務まるかどうか非常に心配ではありますが、選任された以上何としてもこの重責を果たしたいと思っております。

社会の変化に伴い大学も大きく

変わってきております。京都大学も前山極総長時代に打ち出された「WINDOW構想」により国際化が一層進展しております。経済学部も江上前学部長を中心にグラスゴー大学、バルセロナ大学とのジョイント・ディグリーを開始する等、学生、研究者の有り方も大きく変化しています。一方コロナの影響で大学の授業だけでなく学生生活も大きく変わってきております。一部にはアルバイトも出来ず学費の捻出にも苦労するという学生もいるようです。嬉しいことにそのような学生に対する卒業生からの支援の輪も広がっていると聞いております。

同窓会の本来の目的は「会員相互の親睦及び母校との連絡をはかる」ことであります。

京都大学には実に多種多様な人材が集まり、「自由な学風」のもとで学び、「自主独立と創造の精神」という共通の理念を修得した卒業生が色々な面で活躍しております。このネットワークを広げ、より強固なものにし、その結果として卒業生(現役も含め)の活動範囲、人脈を広げることも同窓会の大きな役割であるのではないかと思っております。

2019年に経済学部が100周年を迎えましたが、2022年には京都大学125周年を迎えます。京都大学が益々発展し、京都大学経済学部同窓会がより一層親しみやすくまた魅力的なものになるよう微力ではありますが全力を尽くしますので、どうか皆様よろしくお願い致します。

ご挨拶



経済学研究科長・経済学部長

依田 高典

2021年4月より経済学部長・研究科長を仰せつかりました依田高典と申します。同時に経済学部同窓会理事長にも就任いたしました。同窓会会員の皆様には、今後ともご指導、ご助言をお願い申し上げます。

ここ十年の都・京都にて、京都大学経済学部・大学院経済学研究科へ、皆さまの後輩である学生諸君を迎えて、新しい年度をスタートさせております。OBOGの皆さまは学生時代をどう過ごされたか。京都の四季は美しいです。春は洛東・哲学の道を逍遙し、夏は洛北・貴船で涼を楽しみ、秋は洛南・醍醐で月を愛で、冬は洛西・嵐山で雪を踏む。OBOGの皆さまにとっても、とても大切な青春の1ページがありでしょう。時を惜しんで、学問に励むと共に、朋友と語りあった思い出が走馬灯のように駆け巡りませんか。京都大学経済学部は、2019年に学部創立100周年を迎えた、日本最古の経済学部です。京都大学は自由の学府として、何よりも学生自身の自学自習の精神を尊重してきました。好きこそものの上手なれば、利休居士は

遺しています。人生は長いのです。これからも、皆さまの後輩である学生諸君には、好きな人生の主題を見つけられるように指導して参ります。

私が京都大学経済学部に入学したのは1985年春でした。よく覚えています。入学式の前日に茶話会が開催され、学部長、研究所長を差し置いて、新入任教員だからと謙遜しつつ、口を開くや、独演を止めない御仁がいました。「法学部でなくて経済学部で良かった。経済学ほど面白い学問はない。社会に比べられる学問を学んで欲しい」。さすがに大学というところは、怪人物のいるところだと感心しました。ゼミ選択の折りに、その怪人物の名前が伊東光晴であることを知るや、この御仁に勝とうと、敢然と伊東ゼミの門を叩き、毎週のゼミの度に論争を挑みましました。勝てませんでした。この御仁は挑戦的な若者を愛し、卒業の秋に就職の挨拶にうかがった折り、長嘆息して「惜しいねえ」と言いました。その三言で、私は人生の主題を悟り、翌年の大学院進学を決意しました。人の出会いは人生を変えます。

同時に、人生は短いです。経済学部長・経済学研究科長として多くのことを望みません。私は母校の改革で、2つの主題に注力したいと思います。

第一の主題は、文理融合教育の推進です。経済学ほど面白い学問はありません。今、経済学はいわゆる人工知能のようなデータサイエンスと融合し、新しい実証的学問として、世界を変えつつあります。京都大学経済学部はいち早く理系入試を取り入れ、文理融合教育を目指してきました。これからも全学のセンター・研究科と協力して、経済学とデータサイエンスの融合教育に取組んでいきます。文系学生は理系の科学技術知識を、理系学生は文系の文化歴史芸術を身に付けるように指導して参ります。日本は今、国際競争の苦境の中で呻吟しています。従来型の狭い知識人では、これからの荒波を乗り越えられません。皆さまの後輩である学生諸君には文理の枠を飛び越えて、新しい時代の波を作って欲しいと思います。

第二の主題は、国際的研究力の強化です。国民は自由の学府・京都大学の卓越した研究力にこそ心から期待しています。湯川秀樹先生のように、福井謙一先生のように、山中伸弥先生のように、私たちは卓越した世界的研究で、社会に応えたいと思います。そのためには、教員の働き方の革新と役割の分担が必要です。チームとして、経済学研究科の研究力を強化しなければなりません。そして、学生諸君こそ、その輪の中心に陣取り、従来型の学問体系

に果敢に挑戦してもらいたいと思います。私はその環境整備のために、力を尽くす所存です。皆さまの後輩である学生諸君には、国境の枠を飛び越えて、新しい学問の波を作って欲しいと思います。

OBOGの皆さまは学生時代をどう過ごされたか。人生は長いようで短いです。搔痒として焦ることもあったでしょう。人生は短いようで長いのです。汪洋として戸惑うこともあったでしょう。私たち教員は皆さまの後輩である学生諸君に焦る自由、戸惑う自由を与えたいと思います。そうした時には、春に洛東・哲学の道を逍遙し、夏に洛北・貴船で涼をとり、秋に洛南・醍醐で月を愛で、冬に洛西・嵐山で雪を踏みつつ、京都の美しい四季を愛でるように言葉を贈りたいと思います。



国際共同学位（修士）を

授与する新専攻を設置

バルセロナ大学
1451 年創設。スペイン語圏有数の経済学・経営学教育拠点

グラスゴー大学
1450 年創設。経済学の祖
アダム・スミスの母校。
国際共同学位課程による
教育で欧州随一。

京都大学

学の両大学と共同設置する秋入学の国際共同学位（ジョイント・ディグリー、JDと略称）プログラムです。

学生はグラスゴー大学（第1学期）、バルセロナ大学（第2学期）で半年ずつ学び、2年目には京都大学（第3・第4学期）で学修し、3大学が連名で授与する「修士（グローバル経済・地域創造）」の学位を取得します。

本学では医学研究科や文学研究科がJD課程を設置していますが、経済学分野のJDは国立大学初であり、3大学によるJDも日本で二例目です。また本専攻は日本初の「コンソーシアム型」JD課程でもあり、欧州を中心に7カ国の7大学が組織するGLOCALコンソーシアムの学位課程（Global Markets, Local Creativities, GLOCAL）の一部（スタディ・トラック）を構成します（下図参照）。各国において京都大学とよく似た位置にある7大学が密接に協働し、世界水準の教育を提供します。

GLOCALは欧州連合による「エ

歴史的な視点と経済学・経営学を軸とした学際的なカリキュラムによって学びます。





確保しました。こうして対面授業からの180度の転換となるオンライン授業がスタートしました。当初は先生方も教材・課題の作成、Zoomの取り扱い等に時間を取られましたが、徐々に慣れて全学レベルでの情報交換や成功事例の共有を行うことも可能になりました。

なお、京都大学にはPandAと呼ばれる学習管理システム（LMS: Learning Management System）があります。オンデマンド型教材の配布、課題やクイズの作成や提出、成績の集計、受講生への連絡、動画配信、掲示板などの授業支援ツールが利用でき、オンライン教育には不可欠のものです。4月に京都大学がZoomの全学ライセンスを購入し、教職員・非常勤講師ひとりひとりがZoomのアカウントを持ちました。加えてPandA内でZoomによるWeb講義を設定（予約）し受講生に通知できるため、当初セキュリティ上の脆弱性が指摘されていたZoomの安全性・利便性が向上し、同時配信型オンライン授業が急速に進みました。令和2年度後期には感染状況に応じて演習（ゼミ）や大学院科目など少人数の授業においてはハイブリッド型の講義も可能になり、急速に教育効果を上げることができました。

一方、コロナウィルス感染症拡大が原因となり授業料等の支払いが困難になった学生さんやオンライン授業を受講するためのインターネット環境を整えられない学生さんに対しては、全学的な「緊急支援プラン」の実施やWiFiルータの貸出などが行われました。また経済学部同窓会東京支部からも支援のためのファンディングのお申し出をいただきました。経済学部では大学に出校できないことによるストレス（特に1回生）の緩和のため、クラス単位などで学校に出てきてもらって交流を深めるための集まり（Get Together Meeting）や、学部・同窓会共催のオンラインシンポジウムを実施しました。

現時点（令和3年3月末）では、令和3年度の講義はコロナウィルス感染状況にもよりますが、原則教室における対面授業が予定されています。この1年間に急速に進展したオンライン授業の良さをどのような形で取り入れていくかを検討しています。



【写真はハイブリッド型授業の様子】

令和2年度における オンライン授業を振り返って

令和2年2月から新型コロナウイルス感染症が国内でも拡大し始め、3月2日から小中学校、高校、特別支援学校が一斉休校となりました。京都大学においても慌ただしく会議が開かれ、対応策が協議されました。喫緊の問題は卒業式・学位授与式、入学式、そして新学期的講義をどうするかです。結局、大勢の学生が集まるこれらの式典はすべて中止となり、新学期においてはオンラインによる授業を行う方向が固まりました。当初は対面での授業（従来の通常型の授業形式）を併用することも考えられていましたが、感染拡大防止を第一に考え、対面での授業は原則停止となりました。

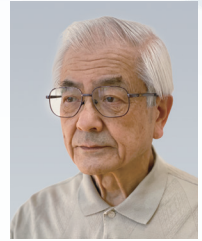
さてオンライン授業といっても、いろいろな方法があります。まず①オンデマンド型、②同時配信型、③ハイブリッド型と分けられます。最初のオンデマンド型ですが、パワーポイントなどの講義用スライドに音声による解説を録音したものを作成し、受講生は適宜再生して学修するという仕組みです。板書など講義を行っている様子を収録したビデオを配信することも、技術的には難しいですが、オンデマンド型と言えます。次の同時配信型は Zoom などの Web 会議システムを用いて、教員が講義を行い、受講生はその講義にログインしてリアルタイムで受講する仕組みです。Zoom を使うと講義資料などは画面上で共有することができますし、質問をするときは「手を挙げる」こともできます。またブレイクアウトセッションという機能を使えば、クラスをいくつかのグループに分け、そのグループのメンバーだけで話し合ったりすることもできます。最後のハイブリッド型は、教室において対面で授業を受ける受講生と同時配信型によるオンライン方式で授業を受ける受講生が共存する方法です。具体的には教員が教室で授業を行う様子を、Zoom を通じてオンラインで同時配信することになります。音声や画質がクリアなものを配信する必要がありますので、技術的な難易度が高くなります。

令和2年度前期の開始と同時に、1～2回生向けの一般教養科目を担当する国際高等教育院を含むほぼすべての学部・大学院は、感染防止対策のため、オンライン授業の準備（主としてオンデマンド型教材の作成）のため、5月の連休明けまで休講にしました。ただし補習などを行い、前期期間全体では必要な学修時間を



● 名誉教授 近況報告

ちょっと江戸へ行ってくるわ



京都大学名誉教授

渡邊 尚

二十年前に京大を定年退職した後、本同窓会会員のさる先学のお世話になり、東京の私学で教職を続けられる恩恵に浴した。これを機に、住まいを東京へ移したので、この地で生まれ育った私にとり三十五年ぶりの帰京となった。この間の東京の変貌ぶりはすさまじく、今昔の感に堪えない日がいっぱい続いたものである。しかし、変わったのは東京だけではない。私自身の東京を覗く眼がすっかり変わっていたのだ。たとえば、この間に東京都江戸東京博物館なるものができていた。この、いかにも木に竹を継いだような耳障りな館名に接したとき、江戸時代から東京時代への移行の軋みが聞こえてきた気がしてならなかった。久しく東京を離れることがなければ、気にもとめないことだったろう。

かかる違和感が具体的な疑問の形をとるにいたったのは、つい最近のことである。昨年十月、日本維新の会による市と府の「大阪都」への統合案が住民投票で否決されたとき、私は反対派の心理がすぐには理解できなかった。しかし、生粋の大阪人をもつて鳴るさる知人から最近届いた書信に接して、なにやら腑に落ちた気がしたことである。そこには、「大阪都」案が否決されたことの安堵感が綴られた後、薩長政府により東京に改名させられた江戸っ子の無念如何ばかりであったかと、書き添えられてあったからだ。この言が、江戸から東京への改称の意義に私を向きあわせたのである。

慶應四年七月、「江戸ヲ称シテ東京ト為スノ詔書」が発せられた。東国第二の大都市である江戸を天皇親政の地にするため、これが改称理由である。いかにも尤もらしい。しかし、そもそもなぜ改称が必要だったのか。改称するとして、なぜ東京だったのか。この呼称は明治中期まで用いられた。なぜ東都でなかったのか。

ここで、そもそも天正十八年に家康が江戸城に入ってから、なぜ江戸の地名が使われ続けたのかが問われる。十三年後の慶長八年、開府の年に刊行された『日葡辞書』には、「Tōdio ヒガシノミヤコ」が立項されており、東京という呼称が当時すでに生まれていたことを伝えているからだ。とはいえ、江戸の別称が東都、江都、江府と、いずれも京を含んでいないことを考慮すると、どうやら京は京都の、都と府

は江戸の略称として、使い分けられていたらしい。したがって、江戸の改称にあたり東都という選択肢もあったはずなのだ。

じつは京都という地名の変遷も、一筋縄ではゆかない。そもそも京都は、京師、京城、京洛などと同義のみやこ般を指す普通名詞であり、京は漢音でケイと読んだ。キョウと読むのは呉音であり、正音はケイである。東京（左京）は洛陽の別称であり、長安の別称である西京（右京）と対をなす。江戸の新称を東京にしたのは、左京との混同を避けるためだったのかもしれない。京都が固有名詞になったのは平安末期であり、鎌倉幕府が京都守護を置いたことで、この地名が制度化した。他方で、平安京の略称として使われた京は、奈良時代のうちに定着していた呉音で、キョウと読まれていただろう。ケイトからキョウトへの字音転化も、京都の固有名詞化とおそらく軌を一にしていたと推定される。しかし、明治中期までに東京の読みが定着すると、京都は西京になり、京は主都般を表す普通名詞に戻ってしまったのだ。

他方で、京の固有名詞性を奪った東京も反作用を免れなかった。江戸から東京への改称は、和名から漢名への改称にほかならないからだ。京都、大坂、江戸の「三都」のうち、京都だけが漢名（東アジア国際語）により首都性を顕示してきた時代が終わっただけでなく、和名により固有の地域性を堅持してきた江戸もまた、命運が尽きたのだ。江戸は東京への改称を強制されただけではない。これより先、東京という降りつもる火山灰に埋もれてゆくばかりになったのだ。

かかる京都对東京の「二都物語」を、大坂遷都案が京都の公家勢力によって蹴されて以来、大坂人（阪は佳字）の多くは冷やかに観てきたものではあるまいか。政治権力の座としての京や都は京都や東京に任せ、商人共同体としての市の街に開きなおり、「三都」の中で唯一、和名を堅持する大阪市の住民であり続けること、これが大阪人の選択のように思われる。典型的な大阪人だったさる日本経済史家は、生前、東京へ学会出張するたびに、「ちょっと江戸へ行ってくるわ」が口癖だったという。江戸への哀惜と上方の自負とがない交ぜになったこの口吻は、都民になることを拒んだ大阪市民の意思表示をすでに予告していたと言えないか。

「祇園小舎」の個展から

昭和43年卒

能町 孝司



「すごい。能町君って、こんな才能おありでした？日本画、陶芸作品、その上小説まで出版したの、お見事」

「いや、趣味の領域ですよ。日本画については師匠につきましたがね」

彼女は京都在住の同窓の女性で、彼女もモダンアートで活躍していると聞いていた。彼女に案内状を出したらと言われ出しておいた。その山本さんが八坂神社近くの画廊に姿を現した。

「小学6年の時以来やおへん？」

「そうですね」

「貴女は確か友禅の染元に嫁がれたとか」

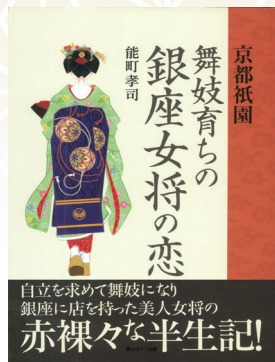
「そうよ。友禅の下絵を描いていますえ。飽き足らずにモダンアートに挑戦してるえ。最近グループ展を開いたばかり。なぜ京都で個展を？」

「4年前に東京銀座の画廊で初めて個展を開きました。今回は一回目ですが、師匠が京都の画家で二度開いてみたかった。先生はもう他界され、教室の仲間ももう鬼籍に」

「個展を開く大変やおへん？」

「そうですね。今回、日本画の小品30点、陶芸作品15点を横浜から持ち込み人で飾り付けをしました」

「この作品は？」



「シチリヤのタオルミーナの神殿です。岩絵の具で、群青が鮮やかに空を染め、朽ちた神殿が浮かび上がった作品です。洋画の絵の具では表現できない色だと思います」

「この本は？」

「最近出版したんですが、アマゾンで売れなくてね。『京都祇園舞子育ちの銀座女将の恋』ですがね。銀座の料理屋の女将さんをイメージしたフィクションです。彼女の素性は知りません。彼女から昨年まで年賀状が、それも花の写真と撮ったのを賀状にしていた。太平洋が怒越しに望める館に穏やかな余生をお過ごしのようにです。彼女からの賀状もかれこれ四十数年たちます」

「へえ、そんな人が今どきはいりません」

「数年前、和紙の便せん3枚の手紙が届きました。達筆な筆使いで、私には好きな大蔵省の官僚がいました。がんばりになりました。すいません、あなたが嫌いではなかった」と手紙の要旨でした。女将のかなわぬ恋。結婚もせず愛想を振りまき、お店を開いていました」

これも C'est la vie.

「女将さんと色っぽいやおへん。能町君は何も？」

「お店に通っていました、二人しての遊びはなかったね」

「そろそろ帰らしてもらいますえ。孫の出迎えがありますのえ」

「明日、6時から、この奥の控室でワインパーティをするんだけど、どう？」

「ありがとうはん。皆さんをおしりやおへんえ」と画廊の階段に姿を消した。

「昨年10月初めに、祇園の八坂神社北側、四条通りに面した画廊「祇園小舎」の個展会場での風景です。」

大学受験の浪人中、ある青少年文化協会のプログラムに日本画教室があり参加した。生徒はお勤めの人ばかりだった。先生は、毎週土曜日、京都山科から来られていた。

日本画の巨匠川端龍子のお弟子さんだった。授業は、ひたすら草花を写生するだけだった。京大に受かったその年の暮れ先生から、日本画の道具一式購入するように言われた。お世話役の方が整えてくださり、グループ展に出品するように言われた。会場は四条河原町交差点を少し下ったところにあった。今はなくなっている。各自グループ展への作品作りにかかった。今までの教室の風景が一変した。道具の手ほどきは、剃りひげ跡が濃い人が、膠の使い方、岩絵の具の扱いを事細かに指導してくださった。四回生の夏にまた、同じ画廊でグループ展があり、その方は暮れに急逝されてしまった。日本画の画風を大切に、丁寧に描かれていた。彼から頂いた50号の「白鷺」の画はまだ自宅に鎮座している。グループ展の名前は「萌芽会」といい、小生が就職し仲間とはすっかり疎遠になりました。グループ展にまつわる恋愛小説を書き、文芸誌の佳作賞をいただいた。



カナダ語学留学の若者たちと

軽く描きます。岩絵の具は、粒子の違いで色を付けます。混ぜるとその感覚はありません。一筆塗るとそれが乾くまで手を加えられません。京都の有名なお寺さんの襖絵はそのような手順で描かれていきます。大変時間がかかります。夏は暑くすぐ乾きますが、冬場はなかなか乾きません。

陶芸についてです。自宅で電動ろくろを買っていましたが、なかなか粘土がコントロールできない。菊ねりした粘土をろくろの天板に乗せて、回転させて粘土の「芯」を出さなければ先の工程に進まない。この繰り返しで、ろくろを見るのも嫌になって放置したままだった。単身赴任で土曜、日曜日は時間が十分あり、折角買ったろくろを取り寄せ練習した。このろくろ成型のおつかしさを「若き炎の陶工」という短編小説に著した。2年近くかかったがろくろ成型は円筒形、茶碗、花器等左右対称にできるようになつた。さらに、釉薬を研究し、窯で焼かなければとの思いは強くなった。結局在職中はそこ中断になった。



画廊「祇園小舎」の展示会場

日本画も陶芸も定年退職してから本格的に挑んだ。陶芸は、粘土選び、ろくろ成型、焼成等夏、冬全く勝手が違う。釉薬が焼成中に流れたり、まともな作品ができるのは割くらいである。

今、日本画では英語の先生宅で長く滞在したマルタ島のバレッタの城塞を100号の大作に挑戦。また陶芸は「織部」の釉薬の調合に忙しかけています。

了

出版案内

京都大学経済学部（経済学研究科）で教えるようになったのは1990年4月からだから、もうすでに30年以上の年月が経っていることになる。こんなになく長く京都で仕事をすることになるうとは当初は全く予想していなかった。

若い頃は、講義をするのは苦手だった。いまでも巧くはないが、どれくらい話せば90分になるかという感覚だけはようやく身についた。しかし、専門科目のための教科書はやはりあったほうが講義しやすい。本書は、私

が担当する「現代経済思想」の講義のために書き下ろしたものである（人文書院、2020年1月刊行）。

京都大学では、二人の師（故菱山泉先生と伊東光晴先生）に恵まれたので、当然ながら、両先生から学んだことの多くが反映されていると思う。例えば、本書には、ケインズ、シュンペーター、スラッファ、カレツキ、ジョン・ロビンソンなどが登場するが、いずれも二人の師が関心をもっていた経済学者ばかりである。強いていえば、アメリカのポスト・ケイ



『現代経済思想史講義』

根井雅弘 著
(人文書院 2020年)

ンジアン、制度学派、ハイエクやミゼスなどを取り扱った章が私自身の関心を反映していると言えるかもしれないが、現代経済思想は、ただ二部だけを切り取って理解できるものではなく、思想史全般の素養が必要なので、博覧強記であった二人の師から受けた影響なしには書き得なかっただろう。

経済思想史家としての「現代」は、ふつうに使うその言葉とはやや意味が違っていると思う。現在流行している理論や思想を基準に過去の歴史を書くのは、往々にして、誤解を招きやすいからだ。もちろん、橘木俊詔氏（京都大学名誉教授）との対談『来るべき経済学のために』（人文書院、2014年）でも強調したように、現在スタンダードとみなされている経済理論（ミクロやマクロ）や数学・統計学を学ぶことは、思想史家にとっても必須である。だが、現在の学界の状況を客観的に眺めるには少なくとも50年の年月を経なければならぬと思う。例えば、もし50年前、1970年の時点で主流であったサムエルソンの「新古典派総合」の立場で現代経済思想史を書いたら、新古典



京都大学大学院
経済学研究科・経済学部 教授
根井 雅弘

派総合に収まりきらないものの多くが周辺に追いやられることになるが、その後の経済理論の展開をみれば、新古典派とケインズを「接合」しようとした構想がサムエルソンが考えていたほど簡単ではなかったことがわかるはずだ。

ところで、昨年度は世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症のために、ほとんどの講義やゼミナールが突然オンラインに移ってしまった。確かに、それは予期せぬ大きな禍ではあったが（今後もしばらく続く可能性もあるが）、一番近いところでは10年前にスペイン風邪という前例があり、人間の歴史をもっと長いタイムスパンで考え直すよい機会を与えられたように思った。経済思想史もまた然りである。現代経済思想という講義は、繰り返しになるが、現在進行形の理論や思想を教えるだけのものではない。現代経済学の再考につながる視点を過去の歴史から学び、すべてを現在を基準に考えるときに陥りがちな過ちに気づくためにある。私はそういつて講義を始めることにしている。

私の研究

私の研究分野は、マクロ経済学と人口経済学です。家族の経済学、労働経済学、教育の経済学といった分野とも関連しています。いくつかのテーマに取り組んでいます。その一つに少子高齢化と経済の相互作用に関する研究があります。「相互作用」というのがポイントです。

多くの国で少子高齢化が問題となっていることは今更言うまでもありませんが、その少子高齢化問題に対して経済学的にアプローチするといった場合、多くの人が思い浮かべるのは「少子高齢化→経済」という方向ではないでしょうか。「少子高齢化に起因する労働力不足によって経済成長が停滞するのではないか?」「少子高齢化のもとでいかに持続可能な社会保障制度を設計するのか?」といった、いかにも経済学者が考えていそうな問題です。これらも多くの経済学者が取り組んでいる重要な問題であることは間違いありませんが、経済学を使って「経済→少子高齢化」という反対方向の作用を考えることもできます。

少子化は、経済に存在する家計が、自分を取り巻く環境の変化に応じて、以前よりも子どもを持たなくなった結果、あるいは子どもを持つとしても以前よりも少ない子ども数を選ぶようになった結果です。子どもを生み育てるという行為は、経済学の分析対象からかけ離れたもののように思われるかもしれませんが、確かに、どのようなライフ・スタイルが人生にとって理想的なのか、どのような教育が子どもの成長にとって望ましいのか、といったことを考えるのは経済学の範囲外です。例えば「A」という教育をすれば、子どもはXになる」「B」という教育をすれば、子どもはYになる」といったことを考えるのは経済学以外の分野の課題です。しかし、そのような行動と結果の組み合わせが与えられた上で家計がAではなくBを選択しているとすれば、その選択の背景を考えるのは経済学の仕事です。

家計が少ない子ども数を選択するようになったことには様々な要因がありますが、長期的要因として最も重要であると考えられているのは、教育の重要性が増して、子ども一人一人に多くの資源を投入しなければならなくなったことです。昔は人間が自ら重いものを運ぶ必要がありましたが、現在ではロボットに運ばせることができます。そのような技術の変化が起きると、労働市場において評価される技能も変わります。人間が自ら運ばなければならぬ経済では肉体的な屈強さが評価される一方、ロボットが運んでくれる経済ではロボットを設計・操作する能力が評価されます。肉体労働が重要な経済では、高度な教育を与えなくても子どもは将来十分な所得を得られると期待できるので、育児・教育にかかる費用が少なく済みます。児童労働が許されていた時代では、子どもを増やすことがかえって家計の助けとなることさえありました。一方、頭脳労働が重要な経済では、反対のことになります。経済発展とともに頭脳労働が重要になるとすれば、経済が発展すると育児・教育の費用が上昇して子どもが少なくなります。



京都大学大学院
経済学研究科・経済学部 准教授
安井 大真

以上のように経済環境の変化は家計の行動を変化させますが、それで話は終わらず、家計の行動の変化もまたさらに経済環境を変化させます。多くの人々が教育を受けるようになるとそれだけ技能が高い労働者が利用可能になるので、それに合わせて企業が採用する技術も変化するからです。また、教育のリターンが大きくなると、教育を受けた人と受けなかった人の格差が拡大するという問題も生じます。そうすると、ますます子どもの教育を成功させるインセンティブが大きくなるので、家計はさらに教育熱心になって、子どもを育てる費用がさらに高くなる可能性もあります。

経済は時間を通じて変化します。一つの変化が無数の相互作用を伴って以前の均衡から新しい均衡に移行していきます。そのような時間を通じた複数の要素の相互作用を分析するのに有用なのが動学的一般均衡モデルと呼ばれるマクロ経済学の標準的な枠組みです。その枠組みを使って少子高齢化と経済の相互作用について研究しています。

教員の紹介



退任



末松 千尋

2001年より20年間に渡りお世話になりました。ネットバブルが世界で崩壊した年に移籍してからITビジネスと起業について研究と教育に携わってきましたが、当時と比べると、学生がベンチャーに就職することや、自ら起業することも珍しいことではなくなってきました。しかしながらビジネスにおけるITの活用の方については、日本で進展しないことに疑問を持ち続けてきました。ITの導入とは業務のイノベーションそのものであることに気付き、近年はイノベーションについて深彫りするようになりましたが、日本企業や社会の大きな足かせをそのまま残して去ることは気がかりです。技術・製品開発の停滞、少子化と高齢化、財務負債の拡大、経済活力の毀損、英語化／グローバル化からの遅れ、コロナの影響下のオリンピック後の経済減速、そして大きな政府の進行と競争の停滞など、「失われた30年」はもうしばらく続きそうですが、その後にはこの国は奇跡の復活を遂げると信じています。

退任



徳賀 芳弘

今年3月末をもちまして京都大学を定年退職しました。18年半に亘り、経済学研究科及び経営管理研究部の先生方、並びに事務スタッフの皆様には大変お世話になり、ありがとございました。優秀な学生と頼りになる同僚の皆様のお陰で充実した教員生活を送ることができました。4月からは京都先端科学大学にて理事及び経済経営学部長として大学運営に携わっていきます。同時に京都大学エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム（ELP）の委員長として、また寄附講座の客員教授として籍を残していただけのこと、うれしく思っております。ELPでは、京都大学構内の橋会館（110年前に竣工された旧帝国大学総長官舎）にオフィスを用意していただきますので、お時間のあるときには是非ご来訪ください。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

退任



久本 憲夫

今年3月末をもって、京都大学を定年退職いたしました。京都大学経済学部に入学してから今日まで、関東での2年間の教員生活を除けば、実に45年の長きにわたって京都大学にお世話になったこととなります。この間、自由だが、やや身勝手な学生たちや大学院生たちとの議論は、私の教育研究の糧となってきました。自由に研究させて頂いた京都大学には感謝の言葉しかありません。お世話になった同僚の教職員の皆さんに深く感謝する次第です。4月からは、山科区にある京都橘大学経営学部で教育・研究生活を続けることとなります。新学部であり、若い人たちから新たな刺激を受けることを楽しみにしています。まだまだ現役生活が続きます。これからは、すぐには「成果」が出にくい原点に戻っての経済研究をしたいと思っています。

教員の紹介

退任



藤井 秀樹

教員として着任してから31年間、学部学生および大学院学生として在籍した期間も勘定に入れますと40年以上、京都大学にお世話になりました。

その間、多くの学友や卒業生を見送りましたが、入れ替わりに毎年元気の良い新入生がやってきて、貴重な時間を彼（女）らと共有させて頂きました。しかしたとえば、私が見るところ、授業の平均出席率は一貫して20%ほどで、私どもの学生時代の風習は律儀に「墨守」されてきました。このような景色を、「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず」と申すのでしょうか。あるいは、「世は移り、世は来たる。しかし地は永遠に変わらぬ」でしょうか。今は皆様に感謝しかありません。

4月からは金沢学院大学経済学部・大学院経営情報学研究科で引き続き教育・研究に携わってまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

退任



岩本 武和

京大経済に採用されてから28年もお世話になりました。3月に早期退職をして、4月から福岡の西南学院大学経済学部教授として着任いたしました。同窓会で、たくさん素晴らしい先輩方と仲良くしていただけたことは、私の生涯の財産であり、厚く御礼申し上げます。

私が採用された28年前と現在の京都大学経済学部は、全く異なる組織になりました。京大らしさがなくなったとか、個性的な人材を見かけなくなったとか言われる声を多く耳にするのですが、私はそうは思いません。バイデン大統領は、最近「民主主義と専制主義の闘い」という言い方をしますが、28年以上かけて、この組織は小講座制という名の専制主義から、開かれて透明で誰にも機会の平等が与えられている民主主義へと、大きく変貌したと思います。こうした変化に少しでも貢献できたとするならば望外の幸せです。今後も経済学部と同窓会の発展を祈って止みません。

退任



西牟田 祐二

1988年（昭和63年）

京都大学経済学部助教授

1998年（平成10年）

京都大学経済学部・大学院経済学研究科教授

2021年（令和3年）

京都大学経済学部・大学院経済学研究科退職
（京都大学名誉教授）

2021年（令和3年）

獨協大学経済学部教授

教員の紹介

退任



楢山 泰生

本年3月末で、京都大学を退職いたしました。20年と半年の間お世話になりましたが、あつという間だったような気がいたします。在任中の2006年に経営管理大学院が発足し、経済とは二足の草鞋を履くことになりましたが、それによって研究と実務家教育、学部生教育という、多様な領域で経験を積ませていただくことができました。京都大学全体の起業家育成プログラムGTEPの代表として、全学の起業家教育に関わらせていただいたのも、良い思い出となっております。

4月からは、名古屋の楢山女子学園大学現代マネジメント学部勤務し、同学園の理事として学園経営にも関わる立場になりました。女子学園での教育と学校経営は、私にとって新たな挑戦となりますが、京都大学で培った経験を活かして、力を注いでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

退任



久野 愛

本年3月末をもって京都大学を退職いたしました。2017年7月から3年半という短い期間ではありましたが、教育・研究の両面でも多くのことを学び、大変充実した時間を過ごさせていただきました。主に英語プログラム「東アジア持続的経済発展コース」の授業・業務に携わり、様々な国・地域出身の文化的・社会的・学問的に多様なバックグラウンドを持つ学生と出会えたことで、教育の難しさや楽しさ、そしてやりがいを感じる事ができました。教員として貴重な経験を積むことができました。研究面では、学際的・国際的な研究者ネットワークを通じて、研究のフレームワークや分析視角の深化を図ることができました。4月からは東京大学大学院情報学環に移り、新たな環境で研究・教育を続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

新任

王 涛 (Wang, Tao)



京都大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授

【担当講義科目】

学 部 : Introduction to Management, Contemporary Management
大 学 院 : Organization Theory, Research Design

【抱負・感想】

I recently joined Kyodai after having lived in Europe for the past twenty years (mostly in France and Germany). An organization theorist by training, I am interested in understanding the dynamics of business and management, and how they shape and are conditioned by social structures and processes. Current research projects focus on social

evaluation in the hospitality industry, organizational identity in creative industries and nonmarket strategy of small and medium-sized enterprises. I use both quantitative and qualitative methods to investigate historical and contemporary management phenomena, ranging from the silk industry in pre-revolutionary France to early 20th century Chinese accounting professionals to emerging social e-commerce platforms. I am teaching at both undergraduate and graduate level and am very impressed by the quality of Kyodai students. I very much look forward to getting to know more Japanese language and culture and am already excited to study Japanese business and management.



新任



安達 貴教

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授
京都大学大学院 経営管理研究部 併任

【担当講義科目】
学部 … 入門演習

【抱負・感想】

わたくしは新潟県出身なのですが、子どもの頃から日本史に関心があり、小学生の時には、「邪馬台国があったのは九州あるいは畿内?」とか、「南朝よりも北朝の方が気になるな」とか、そういったことを考えて過ごしておりました。関東、北米、尾張など、転々として参りましたが、この度、ご縁に恵まれて、上洛を果たしたという次第でございます。研究面におきましては、「不完全競争の経済学」の視点に立ち、主に競争政策に関わる問題を考えていくことに関心を抱いております。実のところ、京都大学経済学部はかつて在職していた青山秀夫（1910-192）が『独占の経済理論』を出版した舞台でもあり、その意味では、日本における「不完全競争の経済学」の発祥地とも言えます（1937年）。千年の都に位置する本学部に対して日頃より多大なご支援を賜っている皆様方に感謝しながら、研鑽に励んで参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新任



天野 良明

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師
京都大学大学院 経営管理研究部 併任

【担当講義科目】
学部 … 財務会計
大学院 … 財務会計論B

【抱負・感想】

2012年に本学経済学部を卒業後、経営コンサルティングファームでの勤務を経て、2016年から再び本学経済学研究科に戻り、本年3月に博士号を取得、4月に着任いたしました。専門は財務会計で、企業の開示する会計情報と、合併・買収（M&A）などの企業行動との関連性について研究をしています。出身は東京ですが、京都は研究をするにはとてもよい環境だと感じています。ともすれば情報過多になりがちな現代において、適度に情報が遮断されているところが研究者には合っているのかも知れません。引き続き京都で研究に取り組みることをとても嬉しく思っています。これまで本学で数多くの先生方・先輩方より教えていただいたことを社会に還元できるよう、全力で研究と教育に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

新任



数村 友也

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

【担当科目】
学部 … 外国文献研究
大学院 … メカニズムデザイン

【抱負・感想】

2017年に大阪大学で博士号を取得し、その後東京大学、東京工業大学での助教を経て、2021年4月に本学に着任しました。専門はメカニズムデザインという分野です。メカニズムデザインは、市場がうまく機能しない状況において望ましい結果（配分）を達成する制度の解明を行う分野です。メカニズムデザインの中にも様々なテーマがありますが、私は特に望ましい結果を実現するオークション制度の解明に取り組んでまいりました。まだ着任したばかりですが、快適に研究に打ち込める環境を整えていただいております。大変ありがたく思っています。またレベルの高い学生たちが集まっております。とてもいい刺激になっています。研究と教育のどちらも一生懸命取り組んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

新任



鈴木 寛之

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

【担当講義科目】
学部 … 原価計算論
大学院 … 会計文化論A、Managerial Accounting

【抱負・感想】

英国マンチェスター大学ビジネススクールにて2015年12月に博士号を取得後、同国スウォンジー大学講師、同ブリストル大学講師を経て、2021年6月に着任致しました。英国では専門分野の管理会計に社会（心理）学的視点を加え、京セラのアメリカ経営が管理責任者の行動心理に与える影響を研究して参りました。本学でも引き続き管理会計と人間行動の関係性を研究すると同時に、組織アイデンティティや社会・文化などのより広い視野からも研究して参ります。本学学部生の印象として、一橋大学の商学部生・大学院生時代にインゼミを通じて学術交流した際の記憶が今も鮮明に残っております。また、大学院生の質の高さも拝見しておりますので、授業を通じて彼らの学術的探究心に応えられるよう全力を尽くして参りたいです。何卒宜しくお願い致します。

卒業生だより



波乱万丈の30年間で

想い返して

平成2年卒

森下 将典

私は所謂バブル絶頂期の1986年に入学し、日本の大手デベロッパが世界中の不動産を買いあさり、日経平均も最高値を付けた直後の1990年3月に卒業しました。自身はバブルの流れに乗り金融機関に入社しましたが、その後の日本の30年間は右肩上がりの順風満帆な時代から一転、長期にわたる景気は低迷、環境は様変わりしました。社会人になりたての頃は一生、金融機関に勤めると思っていました。現在は金融とは全くかけ離れた仕事に従事しております。

社会人となって最初の10年間で日本の金融機関で勤務しましたが、残念ながら金融危機の煽りを受け国有化されてしまいました。次の10年間は外資系金融機関やプライベートエクイティファンド会社に転職し、さまざまな案件に取り組みました。その後、東日本大震災を契機にそれまでの潮流に流されてきた人生に終止符を打ち、この10年間はバブル崩壊後の淘汰の時代に取り残された会社の事業再生にどっぷりと浸かっております。

私はこれまで事業再生案件を数多く手掛ける中で、4社の上場企業の代表取締役を務めてきましたが、自分は事業の継続性を維持することはできても、新たな成長を導くセンスは乏しいと自省しつつ今も模索する毎日です。日本経済と同様に低位ながらも名目成長はしているものの、よく見ると負債が増えていくだけで実質的成長ができていない会社が本場に多く、我が国経済の活性化のためにも成長をテーマとした事業再生を今後のライフワークとして取り組んでいきたいと思っています。

昨年は卒業30周年の節目の年でしたがコロナ禍の影響で全てのイベントが中止となり、昔の仲間との再会が叶いませんでした。次の節目である40周年には、皆さんとバブル時代の思い出話とその後の波乱万丈の人生談を肴にお酒を酌み交わすのを今から楽しみにしています。



ベンチャーキャピタルの

現場から未来に向かって

平成16年卒

和田 圭祐

2004年に経済学部を卒業し、ベンチャーキャピタルの世界に足を踏み入れて以来、起業家への投資支援を生業としています。2010年には私を含む4名のベンチャーキャピタリストとインキュベイトファンドを共同創業し、インターネット産業を中心に創業間もないシードスタートアップに特化したファンドを運営しております。

この約20年間で、スタートアップのエコシステムは社会情勢と技術革新の最前線で、加速度的に発展し続けています。特に昨今は、大企業によるオープンイノベーションや大学発の技術シーズの社会実装はもろろんのこと、政策や法制も連動しながら、セクターの垣根を超えて未来志向の挑戦が増えてきました。加えて、未曾有のコロナ禍に直面し、先送りしてきた複数の社会課題への本質的な解決策を一気に推進しようとする機運が、かつてなく高まっています。

私の卒業した頃の、ベンチャー及びベンチャーキャピタルへの社会的認知も低く心象も決して良くはない時代を思い返せば、隔世の感を覚えます。とはいえ、米中をはじめとするグローバルなイノベーション競争の中ではまだまだ大きく出遅れている実情があり、このまま世界の進歩に取り残されぬよう奮闘しています。

同窓の先輩後輩にあたる起業家へも投資しており全力で支援していますが、各方面でご活躍中の同門の皆様も、それぞれの持ち場にて日々挑戦をされていることかと存じます。

過去に前例のない未知への挑戦は、どんな分野や単位であれ、大小様々な障壁にぶつかりながら、試行錯誤の連続です。従来の価値観からはアウトサイダーとして見られてしまうことも、先駆者としての宿命かもしれません。京都大学の「自由」の気風を持って、道中の失敗も成功も楽しみながら、一歩ずつ前進し、機会があれば連携していければ幸いです。

私自身も微力ながら、未来に向かってこれからも挑戦し続けていきたいと思っています。



「緩やかなコミュニティ による後押し」

平成21年卒
藪本 祐介

京都大学での学生生活では、当初は同窓のみんなから溢れる自信に少しびりながらも、いわゆる京大生らしい先輩方に誘われ日々の時間を消費していました。そのなかでも、飲みながらの会話やゼミ活動での議論など好奇心を刺激されワクワクしながら過ごしていました。

振り返ってみれば、何気ない会話も議論も機知に富んでいて、京大というコミュニティの中で私にはないユニークさを学び、人との視点の違いを強く認識していたと思います。決して効率的に培ったものではありませんが、学部卒業後、証券会社のアナリストとして勤務するなかで、論点のシャープさやアイデアのユニークさなどはそのような日々の行動から培われていたのではないかと感じました。

今は、COUNTERWORKS（カウンターワークス）というスタートアップのスタートアップを経営しています。オンラインの小売構造が大きく変わるなかで、リアルの小売店舗もより柔軟に運用していくことが求められており、商空間の短期利用促進やそれに応じたハードウェア及びソフトウェアのインフラ構築、商業施設運営のDX支援などを手がけています。

あまり密な連携を見かけない京大生ですが、現職においても緩やかな同窓ネットワークが背中を押してくれています。スタートアップに身を投じるタイミング、創業初期にともに同じ世界を創る仲間を見つけるタイミング、大手の不動産デベロッパーや鉄道会社とのアライアンス締結時など、着実に会社が前に進んでいくときには先輩や同期の方々が陰に陽にサポートしてくれることはとても心強く感じます。

大企業で京大卒のみなさまが継続的に活躍しているほか、スタートアップにおいても目を見張る活躍をされている方が増えています。ビジネスパートナーに同窓のかたがいる場合はある種の安心感が持てるとともに私自身も下手をできない気持ちの引き締めがあります。多かれ少なかれ吉田キャンパスで京大カルチャーに触れたことが共通理解を醸成し、深層にある緩い帰属意識が円滑なコミュニケーションを促進していると考え、これからもこの緩やかなコミュニティを大切にしつつより楽しい世界を創りたいと思います。



目標設定とその実現。 その根底には京大で学んだこと

平成27年卒
松本 大樹

社会人1年目の冬、「クロスボーダーのM&A案件を手掛ける」という目標を立てた。今（執筆当時）から約5年前、メガバンクの地方拠点の法人営業担当だった当時の私には遥か遠い目標に思えた。

以前日本IBMの理事を務めていた親戚に次のアドバイスをもらったことがある。「まずは自分の人生計画を立てる。そうすれば、不思議にその通りになると。社会人になって約1年が経ち、自分の原点と将来を考え直し、前述の目標を立てた。大学では草野ゼミ（企業価値分析）に所属し、企業の経営・財務、M&Aに強い関心があった。また、今後は国際的なビジネス感覚・スキルの習得が必須であるとの強い課題意識を持っていたことも背景にあった。

人事部に希望を出し、社会人3年目よりグループの証券会社の投資銀行部門へ出向した。投資銀行ではM&Aやファイナンスなどドラスティックな提案ができる反面、勤務時間が非常に長く真夜中まで働くことは日常茶飯事であった。苦しいときもあったが夜中まで同僚と協力し働く環境は楽しかった。また、配属先では幸運なことに京大の経済学部同期もいて、彼には大変お世話になった。

社会人5年目、銀行に戻りM&A業務の部署へ配属となった。銀行に戻ってからは時間に余裕ができたため、英語学習に積極的に取り組んだ。その約1年後、グローバルでM&Aアドバイザー業務を手掛ける「ロスチャイルド・アンド・コー」と縁があり転職に至った。5年前に立てた目標を現職の業務として実現している。

京大で学べて一番よかったと思う点は、「人生には様々な可能性があり、生き方は自身で選ぶことができる」ことを気づかせてくれた点だ。京大は自由な学風で有名だが、その放任主義のもと、あらゆる物事が個人の選択に委ねられていると感じた。組織の枠組みの中で生きているとつい忘れがちになってしまうが、目の前には常に選択肢が広がっている。明確な目標を定め、ひたむきに努力をすれば、自分の理想の生き方・働き方を追求できると確信している。

Club & Circle introduction



笑顔の部員



ヨット部

経済学部4回生 川口 桂由

京都大学ヨット部は、今年で 86 代目を迎える体育会部活です。現在はプレイヤー 37 名、マネージャー 12 名の計 49 名で、本年 11 月頃に愛知県蒲郡市で開催予定の全日本インカレにて総合入賞を果たすべく日々活動が続けています。

あまり馴染みのない「ヨット」ではありますが、実は奥が深いスポーツです!まずはその説明から入りたいと思います。

ヨットは、ボートやカヌーのように人力で進むのではなく、セール（帆）にあたる風の力を利用して水上を走ります。風が強くなるほどより高度な操船技術とタフな体力が必要とされ、ベストスピードを維持することは難しくなります。ただ、だからこそ強風域でヨットを乗りこなせた時の疾走感とは格別です!またレースでは刻一刻と変わる自然を相手に、風を読み、波や潮の状況を把握する力が重要となります。さらにこうした情報を併せてどこで艇を走らせるべきか、どのようにレースを展開していけば良いのかを常に考え続ける頭脳戦・心理戦の側面もあり、人間の総合力が求められる競技です。競技性の高さ以外にも、(日本ではまだまだマイナーですが)クルーザーなど老若男女が楽しめる生涯スポーツとしての性質も備えており、世界中で幅広い人々

に、幅広い楽しみ方で親しまれているスポーツと言えます。

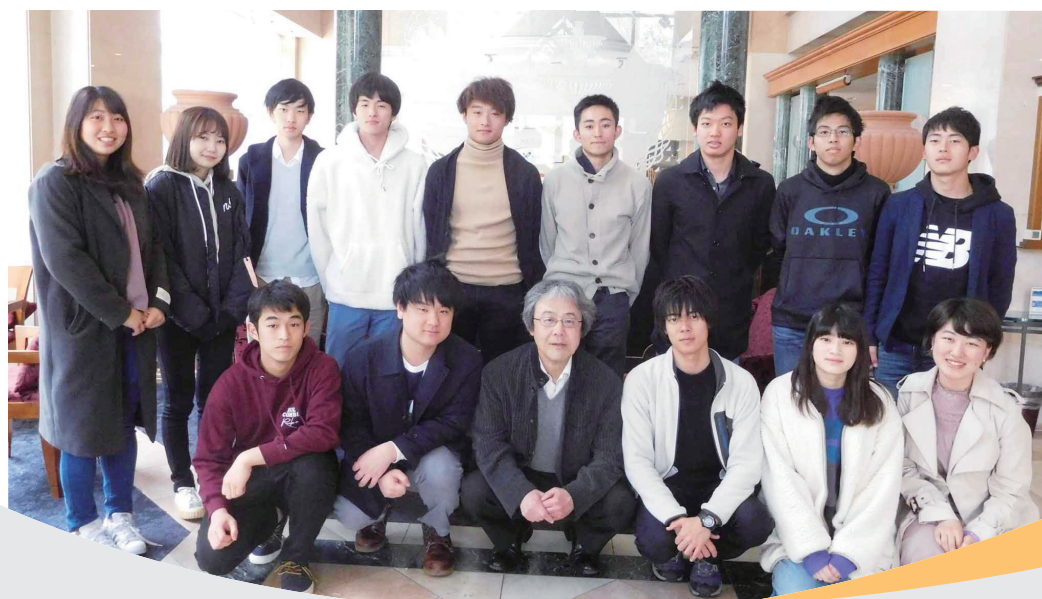
ヨットにも様々な種類がありますが、京大ヨット部は 2 つの艇種、「国際 470 級」と「スナイプ級」の 2 クラスで活動を行っています。(学生ヨットの主流はこの 2 クラスで、全日本インカレもクラスごとの順位ならびに両クラスの合計である「総合」で順位を競います。)昨今はコロナ禍に見舞われ、満足に活動を行うには至っていませんが、これまで学期期間中は週末土・日曜の 2 日、夏季春季の休業期間は週 4~5 日程度、活動水域である琵琶湖で練習或いはレースを行っています。我が部の特徴としては、他の強豪私立大学と比して圧倒的に大学からヨットを始める初心者が多いことが挙げられます。入学当初はヨットの「ヨ」の字すら知らない状態から、諸先輩方から受け継いできた技術を少しずつ身に付けながら徐々に成長し、数年後には全国の舞台で強豪と言われる大学と肩を並べて闘う。書き並べた言葉ほど現実には簡単ではありませんが、近年は着実に力をつけてきており、全日本インカレでは 2018 年スナイプ級 2 位、一昨年 2019 年はスナイプ級優勝・総合 5 位と、好成績を収めました。まだまだ発展途上にある京大ヨット部、一層の発展を目指してさらなる研鑽を積んでいきます!



セールについての「京」マークが映える470級



湖上を疾駆するスナイプ級



岩本ゼミ
Iwanoto seminar

Seminar Introduction



大村 瀬奈

はじめまして、2020年度をもって退職された岩本武和先生の岩本ゼミのゼミ長を務めました、大村瀬奈と申します。活動内容や年中行事を中心にこれまでの活動についてご紹介いたします。

岩本ゼミは岩本先生の専門である国際金融を学ぶゼミです。また、ゼミ生は国際金融の関連分野であるマクロ経済学や計量経済学について興味を持ち、金曜日の2コマを使って行うゼミや自主的にやっている勉強会で学んでいます。具体的な活動内容としては前期にポール・クルーグマンの「国際経済学 理論と政策」の原文の輪読を行い、発表することで国際金融の中心となる知識の習得を行います。そして、後期では3回生の論文班長が中心となり、共著論文を執筆します。私は「量的・質的金融緩和が物価上昇に与える影響に関する実証分析」というテーマで日本銀行の金融政策の効果を研究したのですが、他の学年ではビットコインや海外直接投資などを扱っており、国際金融の枠にとられず、興味を持った分野を深く研究しています。そして、研究発表の場としては、日本と韓国の複数の大学で開催される「韓国インゼミ」や京阪神慶の4大学で開催される「四大学院ゼミ」があり、研究の成果を発表します。「韓国インゼミ」は実際に韓国まで行き、英語で発表を行うということで、苦労もありつつ楽しかったのを鮮明に記憶して

います。

年中行事としては前述した「韓国インゼミ」、「四大学院ゼミ」のほか、年2回のゼミ合宿や学期終わりにゼミ生で飲み会があります。ゼミ合宿では淡路島や倉敷、名古屋に行きました。このように行事が多くあるほか、ゼミ生の多くが経済学部自治会である「経済学部同好会」の常任委員を務めており、同期はもちろん、上下の学年とも非常に仲が良かったです。ゼミ生とは同好会の事務室で一日中一緒に勉強や事務を中心とした生活をし、自主的な勉強会ではデビッド・ローマーの「上級マクロ経済学」やカール・ウォルシュの「Monetary Theory and Policy」を学びました。

ゼミの卒業生は研究分野が活かせるということもあり、官公庁や日本銀行へ就職される方が多いです。その他にはDBJやJBICといった政策金融機関や大学院へ進学される方が多く、ゼミで学んだ内容をさらに深めたり、それを社会で活かしている先輩が多くいらっしゃいます。

最後になりますが、岩本ゼミは最高の勉強の場と卒業後も助け合える仲間を与えてくれました。私も2021年4月より経済産業省で働くことになりましたが、同期が財務省や金融庁に行くため心強いです。岩本先生、28年間お疲れ様でした。先生の新天地でのご活躍をお祈りいたします。

パネルシンポジウム 「コロナ後のビジネスと働き方」

【モデレーター】



梶山泰生氏

2020年8月5日に経済学部と経済学部同窓会が共催でパネルシンポジウム「コロナ後のビジネスと働き方」を開催しました。2020年度前期は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、経済学部の講義はすべてオンラインで行われました。そのため、とくに1回生は入学当初より対面で教員や学生間で交流することができず、経済学部として、学生へのケアが十分にできていないことを懸念していました。そこで、学生へのコミュニケーション、そして学生同士のコミュニケーションを図ることを目的として、オンラインでパネルシンポジウムを開催しました。1回生向けの入門演習の一環として開催したこともあり、1回生を中心に、100名強の学生が参加しました。

パネルシンポジウムを開催するに先立ち、江上雅彦経済学部長より開会の挨拶が行われ、引き続き草野真樹同窓会常務理事より経済学部同窓会について紹介しました。パネルシンポジウムは、同窓会学内企画委員会委員長の梶山泰生教授をモデレーターとして、以下の経済学部教員と経済学部で寄附講義をご担当いただいている企業の方にパネリストとしてご登壇いただきました（代表者のみ記載し、肩書きはシンポジウム当日のものです）。

京都大学 関口倫紀氏（経済学部教授）
三井住友銀行 世古浩之氏（企業調査部部長代理）
アクセンチュア 中村健太郎氏（マネージング・ディレクター）

まず、モデレーターの梶山教授より、新型コロナウイルスがビジネスと働き方に及ぼす影響について、パネルシンポジウムの議題が行われました。とりわけ、企業再編やサプライチェーンの変化などによるビジネスへの影響、そして従業員の評価や公平感などの観点からリモートワークの導入による働き方への影響について、論点の整理が行われました。その後、「New Normal」への影響として、コロナ後の世界がコロナ前の世界と比べてときに、働き方やビジネスのあり方がどのように異なるのかについて質問されました。具体的には、関口教授に「感染拡大前のビジネスのあり方や組織での働き方を特徴づけていたものは、今後どの程度まで変化を余儀なくされるのか」、世古氏に「ファイナンス部門においては新しいビジネス様式がどのような資金需要をもたらすか」、そして中村氏に「海外に生産拠点を持っている日本の製造業（大企業）が戦略を再編するとしたら、何が重要になるのか」について質問が投げかけられ、新型コロナウイルスが働き方やビジネスに及ぼす影響について意見が交わされました。

また、働き方の変化や起業機会について、パネリストに追加的な質問がありました。具体的には、関口教授に「今回の経験は個人から見ただけの場合の働き方、企業から見た場合の人的資源管理のあり方にどのような不可逆的な変化をもたらすか」、世古氏に「経済への影響について、停滞から回復を何年くらいのスパンで考えておけばよいのか。それに伴い、学生は就職活動についてどのような見通しを持てばよいのか」、そして中村氏に「New Normalの状況で、在学中や卒業後起業する場合、何を考えるべきか。想定されていないようなイノベーションがあるとしたらどの分野になるか」と質問され、パネリスト間で活発に議論が交わされました。

最後に、学生より質問を受け付け、多くの鋭い質問がありました。たとえば、テレワークの実情が企業間でバラツキが生じる要因などについて追加的な説明が求められ、新型コロナウイルスが働き方やビジネスに及ぼす平均的な効果に加え、効果の異質性について、

【パネリスト】



関口倫紀氏



世古浩之氏



中村健太郎氏

さらに理解を深めることができました。シンポジウム終了後にアンケートを実施しました。参加した学生は、パネルシンポジウムを通じて、多くの知見を得ることができたようです。モデレーターやパネリストの方々ははじめ、パネルシンポジウムを開催するに当たりご協力いただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

TOKYO 東京支部からの便り



株式会社 NTT データビジネス
システムズ
竹内俊一代表取締役社長

本稿執筆時点（2021年6月）ではいまだ東京はじめる9都道府県で緊急事態宣言が発令中であり、5月に予定されていた支部総会も昨年同様延期とし、会員各位にはその旨郵送でお知らせしたところである。昨年度の支部活動はすべてオンラインでの開催であった。昨年7月の経済懇話会こそ今後の支部活動に関してどのような取組方針にするか定まらなかったため中止としたが、その後は次のように予定通りにオンラインで同窓会活動を継続することができた。実際に会うことができないという根本的な問題がある一方、移動時間をかけることなく遠隔地からも参加しやすいといった利点もあり新しい同窓会活動の形を模索しつつ一定の手ごたえを得た貴重な一年だったのではないかと考えている。

さて具体的には、9月2日には若手の方々にも参加してもらおうと一



日本大学経済学部
中川雅之教授

昨年スタートした経営交流会の第二回を竹内俊一氏（NTTデータビジネスシステムズ代表取締役社長）をお招きし「Society5.0に向かうICT技術動向について」という演題でWEBセミナー形式で開催した。ICT技術について過去から説き起して将来への見通しを得る良い機会を得られた。11月7日開催の第56回経済懇話会では中川雅之氏（日本大学経済学部教授）に「With/after コロナの都市、コミュニケーションについて」というこれからの都市社会がどのように変容していくのかという時宜を得た講演をしていただいた。そして今年に入り1月23日開催の新春経済交流会では諸富徹氏（京都大学大学院経済学研究科/地球環境学学教授）に「コロナ禍と資本主義の新しい形」という洞察力に富んだお話を伺うことができた。3月10日には第三回経営交流会にエンジェル投資家でもある山本康正氏（京都大学大学院総合生存学館特任准教授）に



京都大学大学院
経済学研究科/地球環境学学
諸富徹教授

おいでいただき「2021年に必要なテクノロジー知識とは？」という演題で非常に実践的かつ刺激的なお話を伺った。また講演後にはオンライン上で複数の部屋に少人数ずつに



京都大学
大学院総合生存学館
山本康正特任准教授

分かれ様々な参加者と交流を深めるという新しい試みも行い好評を博した。本年もオンラインも利用しつつ会員にとって有意義な同窓会活動となるよう努めたい。

京都大学経済学部同窓会東京支部
第30期（2020年度）東京支部収支決算書

収支決算書（2020年4月1日～2021年3月31日）（単位：円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部活動援助金（会費）	474,916	イベント経費	153,500
預金利息	345	事務費・会議費	257,990
		振込手数料	3,355
≪小計（第30期収入額）≫	475,261	≪小計（第30期支出額）≫	414,845
前年度繰越金	4,965,533	剰余金（次年度繰越金）	5,025,949
合計	5,440,794	合計	5,440,794

（注1）収入の部は、支部活動援助金（本部）は昨年度に引続き支部総会延期につき無く、各種イベントもオンラインにて無引開催としたため、会員からの支部活動援助金と預金利息のみ。
（注2）支出の部のイベント経費については、経営交流会、第56回経済懇話会、新春経済交流会の講師料等。
（注3）前年度の総収支は、27期▲197,591円、28期▲640,479円、29期▲1,153,934円であったが、30期は60,416円の黒字となった。

財産目録（2021年3月31日）（単位：円）

種類	預入先	金額
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,002,208
普通預金	りそな銀行日本橋支店	372,589
普通預金	三菱UFJ銀行日本橋中央支店	651,152
合計		5,025,949

京都大学経済学部同窓会
東京支部長 相京重信殿

第30期支部会計監査報告

京都大学経済学部同窓会東京支部「第30回支部総会報告」（2020年4月1日より2021年3月31日）についての監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2021年4月13日

京都大学経済学部同窓会東京支部

監事 谷口浩貴
監事 河毛正志

京都大学経済学部 卒業50周年記念同窓会開催予告

昭和45年卒業の皆様へ

恒例の標記の件、昭和45年卒業組の場合は、現在も延期中で未開催であります。
諸条件も整備されてきましたので、今のところ、来年、令和4年の4月～6月頃開催してはどうかと幹事の間では考えております。
今年の10月～11月頃までには、開催要領の詳細を確定させて、対象の皆さん約190人の方々に案内状を郵送いたします。
蛇足ながら、50周年記念同窓会の参加対象者は、京大・経済学部を「昭和45年卒業者(210人)」、または「昭和41年入学者(220人)」の、いずれかに該当する方となりますので、4年より長く在学(勉強)された方は、昭和46年卒や昭和47年卒のグループからも案内状が、届くことになります。
後続年次にもご出席されるよう、お勧めいたします。
京都大学は、今から24年前の1997年(平成9年)の創立100周年事業により、百周年時計台記念館や本部構内及び吉田キャンパスなど、私達が在籍していた52年前とは全く別世界の如く、大いなる変貌を遂げました。それ以上に、ゼミやクラブなどのキャンパスライフ、更には学生気質などに加え、東一条通り・百万遍交差点・吉田神社周辺などの街並みも驚く程変わりました。
一度この機会にご来京いただき、是非共ご自分の脚でそこに佇まれ、過ぎ去りし半世紀に思いを馳せられますことをお勧めいたします。
“千年の都”を感じることができます。

八木長三郎・出田善蔵

昭和46年卒業の皆様へ

コロナ下いかがお過ごしですか。
今年は大学卒業50年を迎えました。
今年の5月27日に京大の百周年時計台記念館2階国際交流ホールで、全国同期会を開催する予定でしたが、皆様にお知らせする前に、コロナで延期になりました。
参加資格は42年入学生と46年卒業生です。
今年の11月頃に開催出来れば良いと思いますが、来年春以降になりそうな雲行きです。
卒業後、皆様色んな分野に進まれたわけですが、50年経って、又学生時代を振り返るのも一興ではありませんか。
京都の紅葉又は桜を見れば楽しさも増すかと思います。コロナの謹慎疲れを癒して京都に旅行しませんか。
同期会の日程が決まりましたら、メールでご連絡させて頂きたいと思っています。
又、同期の連絡ツールとして「グループグループ」を立ち上げています。
現在60人弱参加されています。
そして、同期会の連絡用にメールアドレスを収集しています。
現在148名の方のアドレスが集まっています。
メールアドレスをお知らせ頂くと助かりますので、よろしくお願い致します。

武田健作 <bamboo4@mug.biglobe.ne.jp>

来年のゼミ会開催予告

木原ゼミ 正正会 第7回総会
(再度延期しました)

日時: 令和4年7月9日(土)
12時～15時

会場: 京都大学 楽友会館

深田弘明(昭和53年卒)

ゼミ会を発足される方への支援制度

用途: ゼミ会発足にかかるゼミ生への通信費等

金額: ゼミ会1回につき実費あるいは3万円のいずれか少ない額、最大3回まで支給。

お約束: ゼミ会開催の様子を「同窓会報」に必ずご寄稿ください。

同窓会 事務局通信

Vol. 6

同窓会員の皆さま、日頃は同窓会活動につきまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今回の事務局通信は、よくあるご質問を Q&A にしてみましたので、ぜひご覧ください。

Q: 京都大学経済学部同窓会の事務局はどちらにありますか？

A: まずは左ページの地図をご覧ください。写真の建物「法経済学部東館」の 307 号室です。コモンルームがとなりにありますので、コモンルームをご利用の際も同窓会室よりお入りください。

Q: 同窓会の年会費が支払えないので退会できますか？

A: 経済学部同窓会の年会費は強制ではございません。卒業と同時に「経済学部同窓会の会員」となる旨、規約で定められていますので「退会」はできませんが、同窓会からの郵便物が届かないようにすることは可能です。各種ご案内はできませんが、不要であれば事務局までご相談ください。

Q: 以前、「京都大学同窓会」へ住所などの変更を伝えたのですが、「京都大学経済学部同窓会」の情報が変更されていないのはなぜですか？連携していないのですか？

A: 「京都大学同窓会」は大学全体の同窓会で「京都大学経済学部同窓会」とは組織が全く異なります。もちろん事務局も違いますので、登録情報に変更がございましたら大変お手数ですが「経済学部同窓会」へも必ずお知らせください。

Q: 年会費納入者と未納入者では特典など何か違いがあるのですか？

A: 納入していただいた方には「名簿リスト」の最新版をご提供しています（ご依頼いただいた方のみ）。「名簿リスト」につきましては P29 をご参照ください。

Q: この春からの大学の授業の様子はどうなっていますか？

A: 4 月 21 日までは対面授業でしたが、緊急事態宣言発出により京都大学の「コロナに関する危機管理レベル^(※1)」が上がった為、原則オンライン授業となりました。6 月 21 日よりレベルが下がり、再び対面授業となっています。

Q: 京都大学の「コロナに関する危機管理レベル^(※1)」とはどのようなものですか？

A: 京都大学が決めているもので、レベル 2(-) ですと原則オンライン授業（少人数の場合は対面も可）、レベル 1 ですと原則対面授業となります。

(※1): 正式名称は「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドラインにおける対応レベル」

Q&A は次号へ続く

今後も皆さまにとってよりよい同窓会活動ができるよう、精一杯努力していきたいと思っておりますので、お力添えいただければ幸いです。

最後に、近年異常気象による災害が相次いでいますが、熱海市での土石流により被災された方、ご親族の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

京都大学経済学部同窓会事務局 田村利恵



同窓会事務局
田村・滝川

京都大学本部からのお知らせー第16回京都大学ホームカミングデイ2021

■リアルとオンラインのハイブリッド開催

【開催日程】

リアル開催日：2021 年 11 月 6 日(土)の1日(会場：百周年時計台記念館)
オンライン公開期間：2021 年 11 月 6 日(土)から 2021 年 11 月 30 日(火)まで

【メインプログラム(予定)】

リアル開催のイベント

- ・講演会：講師 山川 宏(宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事長)
- ・音楽会(京都大学交響楽団、京都大学マンドリンオーケストラ、京都大学観風会(和楽器))

オンライン用コンテンツ

- ・リアル開催イベントでの講演会、および音楽会のオンデマンド配信
- ・京大キャンパスのドローン映像
- ・懸賞付きクイズ など

※リアル開催とする場合は、講演会、音楽会、清風荘見学は事前申込・抽選制とし、入場制限等を実施する予定です。開催が決まりましたら、申し込み方法等の詳細を京都大学 HP・京都大学同窓会 HP・Facebook に掲載いたします。

※上記のイベント内容は現時点の予定であり、予告なく変更になる場合がございます。

お問い合わせ先

京都大学同窓会事務局

TEL：075-753-2029, 5563

E-mail：alumni@www.adm.kyoto-u.ac.jp

http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/

是非、
ご利用ください！

コモンルームのご案内

ご利用いただける時間

平日(月～金) 10時～16時
(12時～13時を除く)

法経済学部東館 3階

TEL&FAX: 075-753-3419

TEL②: 075-753-3508

E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp



会議スペース (要予約)



コモンルーム全景 (予約不要)



吉田キャンパスへのアクセス

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス	市バス経路等	下車バス停
京都駅 (JR/近鉄)	京都駅前	206	「東山通 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		17	「河原町通 銀閣寺・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
河原町駅 (阪急)	四条河原町①	201	「祇園 百万遍」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「東山通 高野・岩倉」行	「百万遍」、薬は「荒神口」
		3	「百万遍 北白川仕伏町」行	「百万遍」、薬は「荒神口」
今出川駅 (地下鉄丸太線)	烏丸今出川	17	「河原町通 銀閣寺道・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
		201	「百万遍 祇園」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		203	「今出川通 銀閣寺道・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」
東山駅 (地下鉄東西線)	東山三条	206	「高野 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		201	「百万遍・千本今出川」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「東山通 高野・岩倉」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
出町柳駅 (京阪)	文・教・法・経済・工は、当駅下車東へ徒歩10分、総合人間・理・農は徒歩15分			
神宮丸太町駅 (京阪)	医(医学科)・薬は、当駅下車北東へ徒歩10分、医(人間健康科学科)は、当駅下車東へ徒歩5分			

ホームページのご紹介



FAX: 075-753-3419
E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
送付先をお間違えのないようご注意ください

京都大学経済学部同窓会 個人情報変更届

同窓会事務局様へ

住所・勤務先などの変更を希望される方は、ご記入の上FAXまたはE-mailでお知らせください。

ご記入事項のお願い

●氏名(必須)
姓 名 (姓) 名 (名)

●卒業年度(必須)
卒業年度

●所属支部(番号が分かる場合は)

●メールアドレスをご記入いただいた際に、ハイレベルセキュリティにより、登録されたメールアドレスから、この変更届を送信することができなくなります。ご了承ください。

変更届所がごさいましたらご記入ください

●氏名
姓 名 (姓) 名 (名)

●住所
〒 市 区 町 丁目 番 号 番 号 番 号

●勤務先
勤務先名称 (所属支部・支所の役員は必須)

●勤務先住所 (所属支部・支所の役員は必須)

●E-mail アドレス

※お送りいただきました個人情報(職業)は厳重に管理し、同窓会活動の目的以外には使用いたしません。

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内 同窓会事務局
TEL/FAX: 075-753-3419 E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

図1

FAX: 075-753-3419
E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
送付先をお間違えのないようご注意ください

京都大学経済学部同窓会 住所不明者連絡票

同窓会事務局様へ

住所不明者の情報をご提供の方は、ご記入の上FAXまたはE-mailでお知らせください。

ご記入事項のお願い

●住所不明者の氏名
住所不明者の氏名 (姓) 名 (名)

●所属支部(番号が分かる場合は)

●メールアドレスをご記入いただいた際に、ハイレベルセキュリティにより、登録されたメールアドレスから、この連絡票を送信することができなくなります。ご了承ください。

わかる範囲でご記入ください

●住所不明者の氏名
住所不明者の氏名 (姓) 名 (名)

●住所
〒 市 区 町 丁目 番 号 番 号 番 号

●勤務先
勤務先名称 (所属支部・支所の役員は必須)

●勤務先住所 (所属支部・支所の役員は必須)

●E-mail アドレス

※お送りいただきました個人情報(職業)は厳重に管理し、同窓会活動の目的以外には使用いたしません。

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内 同窓会事務局
TEL/FAX: 075-753-3419 E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

図2

経済学部同窓会ではホームページにより本部及び各支部の活動をご案内・ご報告しております。

各種イベントの詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

今年度も会報に住所不明の方の氏名を掲載しておりますが、ホームページ内にも掲載しております。

- ①白枠のバナーをクリックすると、住所不明者一覧のリンクがありますので、下のパスワードをご入力の上、Excel ファイルの中身をご確認ください。
- ②図2の「住所不明者連絡票」にご記入の上、メール添付、FAX、郵送にて同窓会事務局までお知らせください。住所判明者が複数人いらっしゃる場合は事務局までご相談ください。
- ③住所・勤務先など、ご自身の情報が変更になられた場合は黄枠をクリックして図1の「個人情報変更届」にご記入の上、正確を期すために、メール添付、FAX、郵送にて同窓会事務局までお知らせください。赤色の『京都大学大学院経済学研究科・経済学部 概要』の枠をクリックすると、経済学部概要の最新版がご覧いただけます。

住所不明者一覧パスワード・・・

なお、会報を処分される際は、このページをシュレッダー等で破棄してください。

京都大学経済学部同窓会 VISA カード入会のご案内

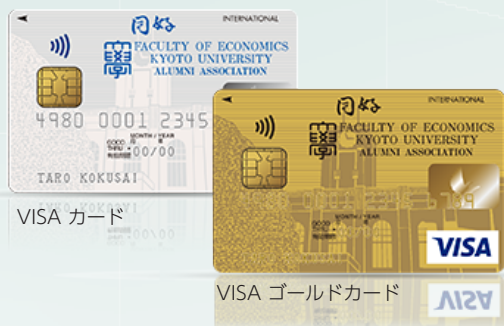
京都大学経済学部同窓会は、三井住友カード株式会社と提携し、京都大学経済学部卒業生のみが加入できる「VISAカード」を発行しております。デザインは経済学部70周年記念に使用した写真(飯野春樹氏撮影)を図案化したもので、同窓会は、このカードの発行により、カード利用額の一部を提携手数料として受け取ることができ、財政基盤確立の一助となっています。

会員の皆様におかれましても同窓会の年会費をこのカードにより自動振替^(※1)とすることができ、大変便利かと存じます。カードの年会費が無料になる場合もございます。詳しくは0120-816-437までお問い合わせください。

どうか本カードの趣旨をご理解のうえ、お申込み頂ければ幸いです。

(※1) 自動振替を希望された方のみ

京都大学経済学部同窓会 理事長 依田高典



ご入会方法

VISAカードの申込方法がオンラインのみとなりました。
ご入会は以下のいずれか一つを選択し、お申し込みください。



1 QRコードからのお申し込み

こちらからアクセスしていただきお申し込みください→

2 URLからのお申し込み

<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/dokoclub/index.jsp>

こちらのURLからアクセスしていただきお申し込みください。

3 ホームページのバナーからのお申し込み

ホームページのVISAカード入会のバナーをクリック。
ログイン画面が出てくるので、ユーザー名とパスワードを入力してクリック。



www.econ.kyoto-u.ac.jpにログイン

ログイン情報はセキュリティ保護されて送信されます。

ユーザー名
パスワード

キャンセル ログイン

入会特典

対象者

…本人以外でも適用になる場合

総合博物館(京都大学)

- ・観覧料無料

白浜水族館(京都大学)

- ・入館料無料

山ばな 平八茶屋

対象者 5名まで適用

- ・7,000円の昼懷石以上の懷石料理注文者に食前酒1杯無料サービス

ワタベウェディング(株)

対象者 カード会員本人と家族(2親等以内)

- ・国内、海外挙式パッケージより5%割引(旅行会社などの取引|先販売店による挙式申込は対象外)
- ・貸衣裳(単品)20%割引(衣裳込みパッケージ、衣裳予約システムおよび現地レンタル衣裳は対象外)
- ・販売衣裳(単品)10%割引(衣裳込みパッケージは対象外)

リーガロイヤルホテル京都

- ・レギュラーフロア ラグジュアリー Suitesの客室利用料金を優待料金にて提供
- ・直営レストラン5店舗での利用料金5%割引
- ・レストラン利用時に、誕生日の者に食前酒1杯(上限4名まで)と記念写真を無料提供

加越 (造り酒屋)

- ・同窓会報第24号の広告ページに記載の料金よりさらに値引き(値引額は確認要です)

同窓会年会費 納入のお礼とお願い

御 礼

昨年度(令和2年4月～令和3年3月)の年会費を納入していただきました皆さま方には、いつも同窓会の運営につきまして、ご理解ご協力賜わり、心より御礼申し上げます。

お 願 い

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)の同窓会年会費5,000円を同封の払込用紙をご覧の上、何卒ご協力賜わりますよう、お願い申し上げます。

同窓会へのご寄付について

ゼミ会・クラス会等で余ってしまったお金を経済学部同窓会へご寄付いただきますと大変有難く存じます。もちろん、使用目的・用途を明確にし、ご寄付いただきました方々のゼミ名・卒年・クラス名等を記載して、皆さまに会報やホームページ等でお伝えしたいと思っております。

皆さまのご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

※会報への掲載の可否については必ずお伺いしておりますのでご安心ください。

ご寄付・名簿リスト・会報記事についての
お問い合わせは同窓会事務局へご連絡ください。

TEL①/FAX : 075-753-3419 TEL② : 075-753-3508

Email dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

平日 10:00～16:00 (土日祝/休)

「名簿リスト」の提供サービス

平成29年度の同窓会理事会・総会において、個人情報保護の観点から「卒業生名簿」の発行を当面見合わせる旨の決定がなされ、平成30年発行の同窓会報21号で皆様にご報告いたしました。経緯および決定に至った詳細につきましては会報21号の27ページをご参照ください。

その折にもお知らせしましたが、「卒業生名簿」配布に代わるサービスとして、同窓会事務局で管理している「名簿リスト」(ゼミ単位、卒業年単位)を送付いたします。ただし、このサービスは年会費を納入いただいている方のみとさせていただきます。

ご利用目的をご連絡いただき、ご本人確認ができましたら、郵送にて送付いたします。

同窓会事務局では皆様のご協力のもと、常に名簿データをアップデートしておりますので、5年ごとに発行しておりました「卒業生名簿」と比べ、より新しく正確なリストを提供することができます。

つきましては、このサービスによる「名簿リスト」に住所・電話番号等の、個人情報の掲載を希望されない方は、同窓会事務局までメールにて「非公開希望」と明記の上、ご連絡いただきますようお願いいたします。

会報第 25 号への記事募集

次回の同窓会報に掲載する記事を募集しております。ゼミ会・クラス会など開催のお知らせや報告、また同窓会活動・京都大学経済学部に関係のある記事等がございましたら、原稿をお寄せください(できればお写真も添えてください)。学校に関係のない記事でも一度ご相談ください。

お問い合わせは、経済学部同窓会事務局まで。

ご注意ください！

数年前に、ある出版業者から卒業生の元へ、『職業別同窓名鑑(文学部・経済学部)発刊のお知らせ』と題する往復ハガキが届いたという事例がありました。これは、最新の個人情報の提供と同窓名鑑の購入を呼びかけるものですが、この出版業者と京都大学経済学部および経済学部同窓会は一切関係がございません。今後も業者名を変えて、同様の手段で個人情報の提供や名簿購入の依頼等が届く可能性があります。返事や振り込み等をなさらないように十分ご注意願います。

経済学部同窓会からの正式な郵便物には、京大のエンブレムを印刷するようにしております。



京大エンブレム

エンブレムがない等の不審な郵便物が届いた場合は、至急経済学部同窓会事務局までお問い合わせください。

[illegible]

転居等による住所不明にならないために

パターン1・2をお願いします

パターン

1 新住所を同封の連絡先等変更届・メール・お電話にてお知らせください。

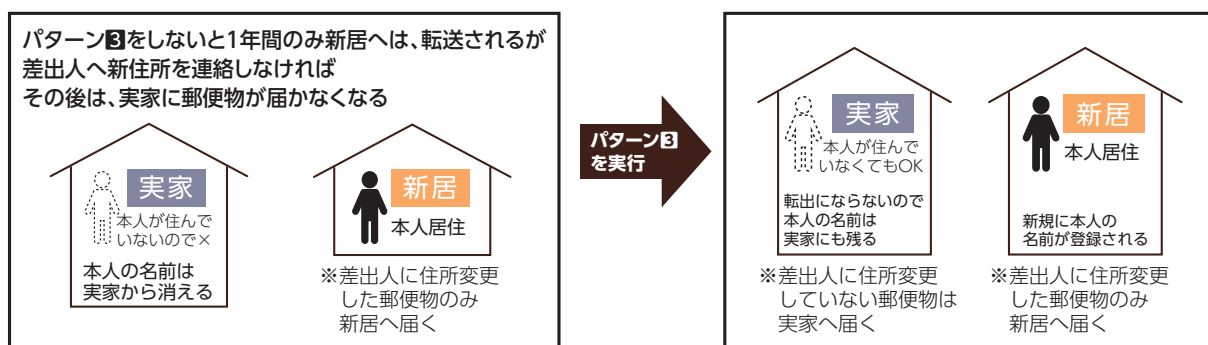
パターン

2 実家に居住中の方（親族等）のフルネームをメール・お電話にてお知らせください。連名で差し出すと実家へ届きます。

パターン1・2が困難な場合

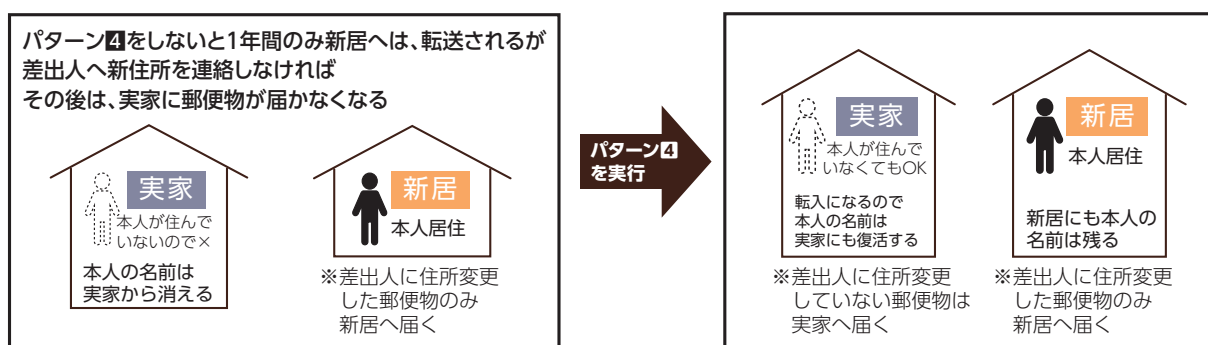
パターン

3 これから郵便局の転居届を出される方 [市区町村の転居届ではありません]
転居届の旧住所欄に「実家住所」を記入しないでください。

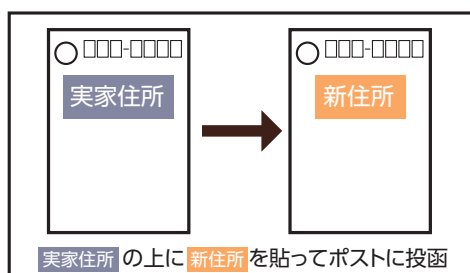


パターン

4 郵便局の転居届をすでに出された方（まだ間に合います） [市区町村の転居届ではありません]
もう一度転居届を出してください。その際、新住所欄に「実家住所」を記入してください。
※旧住所欄には何も記入しないでください



ご存知ですか？
実家に届いた郵便物を
無料で転送できます



ご注意

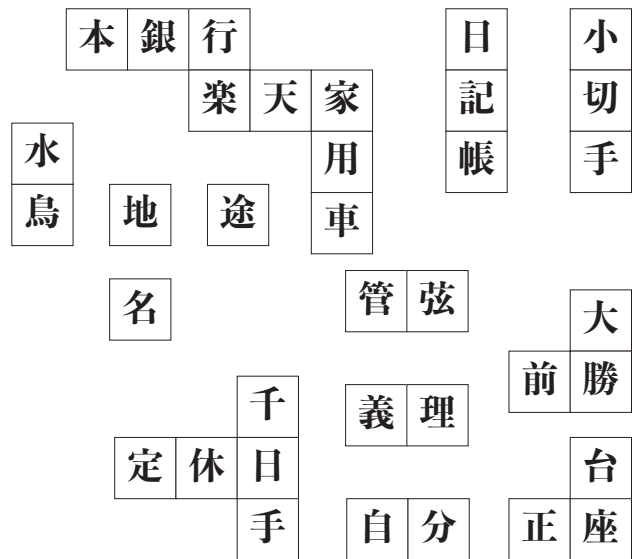
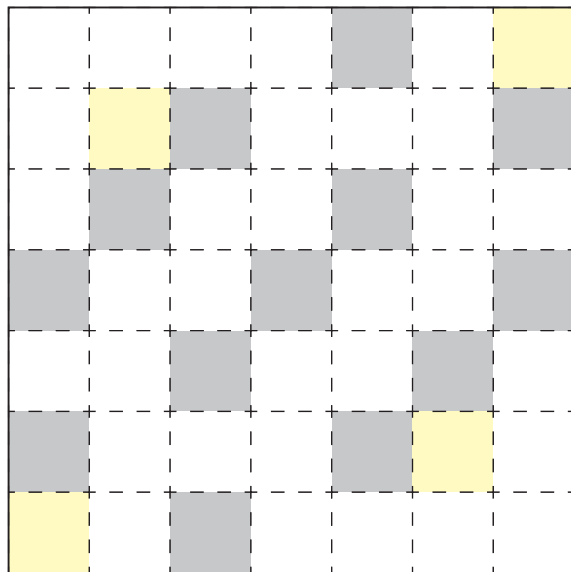
卒業後、下宿先から転居された方は、旧住所欄に下宿先を書き、新住所を必ず同窓会事務局までメール・お電話にてお知らせください。

上記はいずれも日本郵便(株)に確認済みです。

CHALLENGE Dr.HIGASHIDA's PUZZLE — 東田さんのパズルに挑戦 —

パズルが解けた方は、「連絡先等変更届」に答えをご記入下さい。
正解者の中から抽選で10名様に総会でお配りしている
同窓会オリジナルグッズ(4点セット)をプレゼント!

黄色いマスに入った4つの漢字を
並べてできる言葉は何でしょうか?



株式会社東田式パズル研究社
代表取締役社長
東田 大志



1984 年生まれ。京都大学法学部に入学者、総合人間学部にて転学部して卒業。
京都大学大学院人間・環境学研究科にて、日本で唯一のパズル学での博士号を取得。

2019 年に起業し、京都市上京区で「京大東田式パズル教室」を運営。
全国 47 都道府県を自作パズルのピラ配りで周り、「ピラがパズルの人」とも呼ばれる。
フジテレビの『今夜はナゾトレ』など、テレビ・ラジオでもパズルを出題している。
著書に『京大博士のパズルに挑戦』（京都新聞出版センター）、『京大東田式天才パズル』（青春出版社）など。

株式会社東田式パズル研究社代表取締役社長として、京大東田式パズル教室を運営。
『京都新聞ジュニアタイムズ』『朝小かぞくの新聞』『ニュースがわかる』などでパズルの連載を行っています。



『京大博士のパズルに挑戦』
(京都新聞出版センター)



『京大東田式天才パズル』
(青春出版社)

京都大学経済学部同窓会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学部内

TEL①/FAX:075-753-3419 TEL②:075-753-3508
(平日10:00~16:00 土日祝 休)

E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~dosokai/>